

【佐賀県白石町】
令和 5 年度地域スポーツクラブ活動体制整備事業
(合同部活動の推進に関する実証事業)

自治体名	佐賀県白石町
担当課名	学校教育課
電話番号	0952 84-7128

1. 自治体の基本情報

基本情報

人口	21,138人	部活動数	15部活
公立中学校数	3校	市区町村の協議会・検討会議等の設置状況	令和4年5月 部活動検討委員会設置
公立中学校生徒数	557人	市区町村の推進計画・ガイドライン等の策定状況	白石町立中学校に係る「部活動の基本方針」策定中

地域連携・地域移行における市区町村の現状・課題

本町では、令和6年度4月に現在の3中学校を統合再編し、新設中学校が開校する。この機会を契機と捉え、部活動検討委員会立ち上げ具体的な協議と研究を進めてきた。「新しい魅力ある学校づくり」を目指すうえでは、中学生にとって「やりたいスポーツ・部活動ができること」は重要な条件である。3中学校が連携・協力し、開校に先駆け、合同部活動や拠点校部活動ができる体制や学校と地域が連携した組織を構築すること、指導者として地域人材を発掘・育成し有効活用すること、学校施設を有効活用する方策について、検討を重ねてきた。

今年度はこれまでの論点整理と実証研究を生かし、部活動地域移行のモデル事業となる白石アスリートクラブが、「平日、休日ともに地域移行」を行う体制が整ったことや他種目でも「地域クラブ活動」の基盤づくりが進んでことは、顕著な成果である。今後の本事業の展望と現状から、以下の内容が課題と対策としてあげられる

1 ジュニアユーススポーツ推進体制の整備

⇒白石町スポーツ少年団、総合型地域スポーツクラブ等の組織体制の整備と拡充
⇒部活動新たな環境づくり検討委員会と競技別検討部会の開催

2 「部活動改革（地域移行・地域連携）」に係る啓発活動と意識改革

⇒ジュニアユーススポーツ推進研修会の開催

3 地域指導者のさらなる発掘と育成及び教職員に頼らない指導体制づくり

⇒地域指導者（スポーツ分野、文化芸術分野ともに）の公募

⇒JSPO 公認スポーツ指導者資格の取得促進と助成

4 地域での受け皿となる運営体制の構築

⇒スポーツ少年団、総合型地域スポーツクラブ、種目協会・連盟との連携・協働

5 財源確保

⇒保護者・生徒の「受益者負担」意識の醸成と一定の財源負担及び困窮家庭の生徒支援

6 活動場所の確保⇒学校体育施設、社会体育館、町公共スポーツ施設の有効活用

新設中学校で開設する部活動及び地域クラブ活動

○学校部活動

軟式野球 バレーボール【男・女】 バスケットボール【男・女】 卓球【男・女】
ソフトテニス【男・女】 剣道 ソフトボール サッカー 吹奏楽部 美術部
アダプティッドスポーツ部…モルック、ポッチャなど
＊陸上競技は「白石アスリートクラブ」（地域クラブ）で活動

○高校や地域と連携した部活動

ハンドボール部
⇒佐賀農業高校で週1～2回程度活動
書道 放送・朗読
⇒白石高校で月1回程度活動
文化部
⇒科学、郷土史など期間を決めて活動

○中学生が活動できる地域クラブの紹介

*スポーツ少年団や総合型地域スポーツクラブ
バドミントン 弓道 柔道
ダンス 空手 少林寺拳法

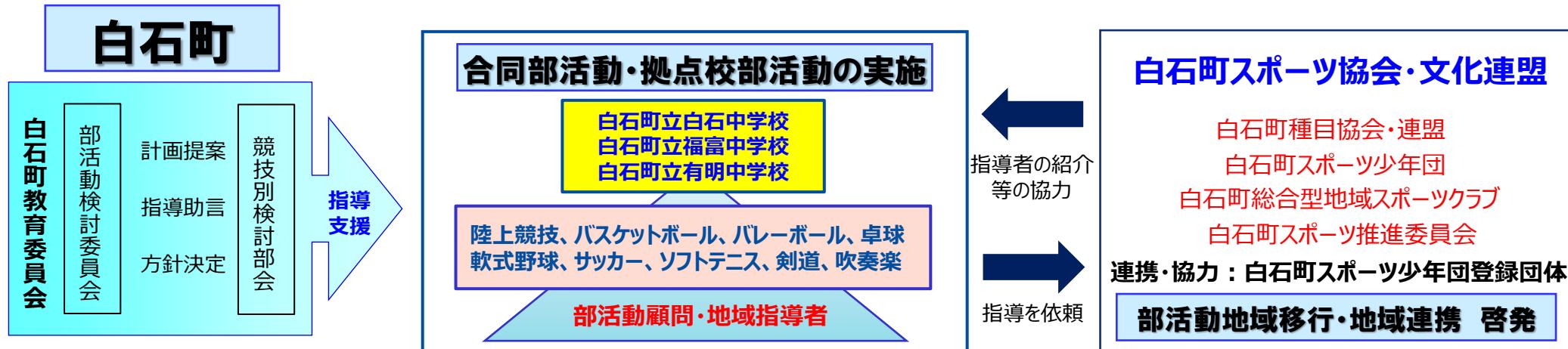
白石アスリートクラブ 活動イメージ図



2. 実証内容と成果

運営体制・役割

▼事業実施体制図（市区町村と関係団体における推進体制図）



年間の事業スケジュール

時期	計画事項
4月	第4回部活動検討委員会の開催（関係者間の顔合わせ、方針の確認、事業計画説明）
	拠点校部活動の実施準備及び町内中学校における事業説明
5月	地域指導者、関連スポーツ団体向け研修会①の実施
	関係団体ヒアリング（部活動改革、地域クラブ活動について）
6月	部活動及び地域クラブ活動関係団体ヒアリング（部活動改革、地域クラブ活動について）
7月	第5回部活動検討委員会の開催（進捗状況の報告等）白石町スポーツ協会競技別代表者向け研修会の実施
8月	第1回競技別検討部会の共同開催 合同部活動（10部）の開始 関係団体ヒアリング（部活動改革、地域クラブ活動について）
9月	第6回部活動検討委員会の開催（中間まとめ、進捗状況の報告、中学校開校に関する準備）
10月	第7回部活動検討委員会の開催（成果報告、来年度に向けた検討課題） 部活動地域移行・地域連携に係るジュニアユーススポーツ推進研修会の実施
11月	
12月	地域指導者、関連スポーツ団体向け研修会②の実施、教師の兼業兼職にかかる説明会の実施
1月	町内中学校 新設中学校における「部活動地域移行・地域連携」研修会の実施
2月	地域指導者「部活動地域移行・地域連携」研修会
3月	事業完了報告書・成果報告書等の作成

2. 実証内容と成果

合同部活動の運営実績

参加校数	3校	実施した種目	陸上競技 軟式野球 剣道 バレーボール バスケットボール サッカー ソフトテニス 卓球 吹奏楽部
合同部活動に取り組んだ部活動数	13部活		

主な取組例

▼活動概要

参加校名	白石中学校、福富中学校、有明中学校
実施した種目	陸上競技
1か月あたりの平均的な活動回数	月4回程度（平日0回、休日4回）
顧問の属性	白石、福富、有明中のそれぞれの教師が顧問を担当
指導者の主な属性	（顧問）教師 スポーツ少年団等の地域指導者が技術指導
活動場所	白石中学校グラウンド 各中学校グラウンド 近接する鹿島市陸上競技場
主な移動手段	徒歩、保護者送迎、自転車で移動
1人あたりの参加会費（年額）	0円/年 令和6年度から24,000円/年徴収予定
1人あたりの保険料	生徒1人あたり：800円/年（スポーツ安全保険） 指導者1人あたり：1,850/年（スポーツ安全保険）

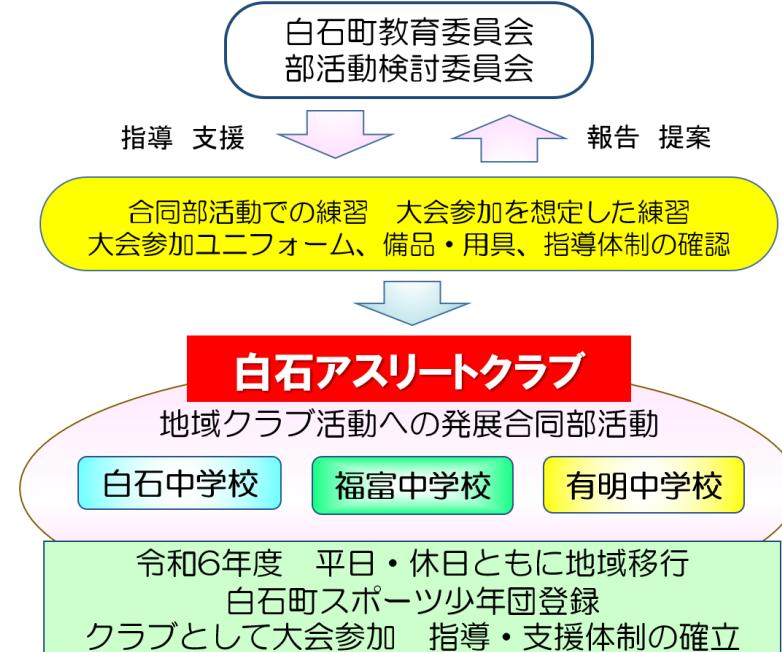
▼参加校における役割分担

● 白石中学校【中心校】

- ・中心校として顧問教師が活動計画を立案し、各学校への連絡、会場予約
指導者の配置などを行う。
- ・トラブル発生時の現場での初動対応、自校の生徒・保護者への各種対応
- ・参加校間の定期的な連絡会等の開催・出席
- ・部活動検討委員会での活動状況の報告

▼運営体制図（合同部活動を実施する際の運営体制）

令和5年度合同部活動及び拠点校部活動 運営体制



● 福富中学校・有明中学校

- ・自校の生徒への活動計画の周知及び学校別練習の活動計画立案
- ・自校生徒の保険加入手続き
- ・トラブル発生時の自校の生徒・保護者への各種対応
- ・参加校間の定期的な連絡会等の開催・出席

2. 実証内容と成果

取組内容

取組事項

町内3中学校の拠点校部活動・合同部活動の実施

本町における中学校の部活動については、近年、単独校で部活動を維持したり、中学生が「やりたいスポーツ・部活動」を開設したりすることや活動を通して十分な成果を上げることが困難な状況がみられるようになった。このことから、町内3中学校が連携・協力し合い、合同練習会ができる体制や学校と地域が連携した指導体制・組織を構築するための合同部活動、また新中学1年生が継続してスポーツ・文化芸術に親しむ機会を確保することや入学した学校に「やりたい種目がない場合」の救済措置として拠点校部活動を実施した。

取組の成果

合同部活動は9種目13部で実施

陸上競技 軟式野球 剣道 バレーボール（男女） バスケットボール（女） サッカー ソフトテニス（男女） 卓球（男女） 吹奏楽部

拠点校部活動で他校で部活動に取り組んだ生徒数

サッカー部…9名、卓球部…1名、ソフトテニス部…2名、バスケットボール部…4名 合計16名

合同部活動と拠点校部活動ともに、生徒にとって「活動機会の確保」と「他校生徒との交流・親睦」を図る機会となった。また各校の部活動顧問と地域指導者が連携した指導体制を整備することにより、部活動運営に関わる人員が増加し、「専門的な指導ができる。」「顧問の負担軽減につながった」等の意見が聞かれた。さらに、新設中学校開校に向け、生徒及び指導者、保護者等が一体感を持つことができた。

特に工夫した事項

合同部活動、拠点校部活動については初の取組であるので、綿密な計画を立てること、生徒及び保護者、指導者に周知徹底するための資料を作成することや説明を行うことを工夫した。 *右表参照

3中学校の校長が協定書を交わすことで共通理解を図り、全教職員に周知することができた。新1年生を対象に、3月に小学校に出向いて説明したり、中学校入学式後に入部手続きに関する説明を行ったりし、より円滑に取り組むことができた。

○合同部活動

- (1) 合同部活動実施要項
- (2) 合同部活動協定書
- (3) 合同部活動計画書
- (4) 合同部活動承諾書
- (5) 合同部活動実施説明書

○拠点校部活動

- (1) 拠点校部活動実施要項
- (2) 拠点校部活動実施計画書
- (3) 拠点校部活動入部手続き
- (4) 拠点校部活動入部希望届
- (5) 拠点校部活動保護者説明

今後の課題と対応方針

今後の課題

「各学校の顧問・指導者の連絡」「顧問・指導者と他校生徒及び保護者との連絡」「保護者間の連絡」など、連絡系統をどのように整備するか。3中学校の保護者間の支援体制・組織体制をどのように構築するか。指導・支援、物事の最終判断を主となって行う顧問・指導者のリーダーは誰が決めるのか。平日の移動手段確保に課題があり、現実的には合同部活動が週末に限定される。などが課題である。

2. 実証内容と成果

参考資料



- 指導者の応募資格は、以下の項目に 1つ以上に該当し指導を希望する方とします。
- (1) スポーツ指導及び文化・芸術活動に熱意を持っていること
 - (2) スポーツ指導及び文化・芸術活動に関する理論的な指導ができること
 - (3) 日本スポーツ協会公認の指導者
 - (4) 体育・スポーツ及び文化・芸術活動に関する学識経験者
 - (5) 白石町スポーツ協会関係団体、白石町文化連盟関係団体、その他の社会教育団体等の推薦を受けた者



【白石町 地域指導者防臭ちらし】

1 新設白石中学校の部活動改革について（方針）

- 白石町では、新白石中学校の開校に合わせて、「部活動改革」を推進します。
- 学齢期だけでなく、生涯を通したスポーツ、文化芸術活動への多様な取組につながる基盤づくりを目的としています。
- 部活動は生徒が身近な環境でもスポーツ等に親しめるように、学校教育の中で長年かけて育まれた貴重な仕組みです。
技術指導の他、信頼関係づくり、生徒指導にも大きな役割を果たしてきました。
- しかし近年、スポーツ等への子供たちの価値観やニーズが多様化し、加えて少子化や学校業務の複雑化など、部活動をとりまく状況は大きく変化しました。従来の仕組みのままで、子供たちの活動を支え続けることは困難です。
- **学校、行政、地域**が一体となって、希望するすべての子供たちの活動を持続的に支えていく仕組みを目指します。
部活動の地域移行は、その手段のひとつです。

2 今後の部活動の地域移行、地域連携の展望

- 1 **学校、行政、地域**が一体となって、希望するすべての子供たちの活動を持続的に支えていく仕組みを目指します。**部活動の地域移行は、その手段のひとつです。**
- 2 休日実施の部活動は、**令和8年度まで**に全種目、地域移行します。
「地域主導で行える体制」（地域指導者が中心となって活動できる）を確立します。
- 3 令和5～7年度の3年間は「段階的な移行期間」です。（国が定める**改革推進期間**）
- 4 地域移行できない場合、令和8年度からは平日のみの活動になります。
- 5 将来的には、可能な競技等から状況に合わせて平日の地域移行を検討します。
- 6 地域移行した地域クラブ・団体には**学校、行政**が連携・サポートします。
(練習場所、用具、生徒指導、支援など)

○地域連携⇒学校部活動を顧問や部活動指導員、地域指導者が連携・協力して活動する。

○地域移行⇒「受け皿」となる地域クラブや団体が中心となって活動する。

2. 実証内容と成果

参考資料（活動写真）



【トップアスリートによる陸上競技教室】



【地域指導者による卓球教室】



【社会人野球指導者による軟式野球 合同練習会】



【佐賀県代表選手を招いての合同稽古】

3. 今後の方向性

地域連携・地域移行の推進に向けた今後のロードマップ

年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
概要	<p>地域運動部活動 推進事業</p> <p>合同部活動 実証研究の実施</p> <p>論点整理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・部活動検討委員会 ・競技別検討部会 ・ジュニアユーススポーツ推進研修会 ・JSP0公認スポーツ 指導者資格取得 ・指導体制づくり 	<p>実践研究 進捗状況把握 施策への反映</p> <p>スポーツ庁 改革推進期間</p>	<p>新設 白石中学校開校</p> <p>国スポ・全障スポ 佐賀県開催</p>	<p>令和6年度開校時</p> <p>令和8年度以降の部活動地域移行について説明</p> <p>新入生の部活動及び地域クラブ活動の募集を実施</p>	<p>休日部活動 完全移行</p> <p>令和6,7年度 小中学生を受け入れる 総合型地域スポーツクラブ スポーツ少年団の再編</p>
フェーズ	<p>白石町の 現状と実態 に応じた 実践と改革</p>	<p><u>合同部活動の 定例化及び 支援体制づくり</u></p> <p>「部活動の方針」改 訂</p>	<p>地域クラブ活動への 移行準備</p>	<p>休日の部活動 地域移行・連携の確立</p> <p><u>ジュニアユース スポーツクラブ 組織再編</u></p>	<p>ジュニアユース スポーツクラブ 組織の設立</p> 